

## 総合評価結果報告書

|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |    |                    |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------|
| 施設の名称                               | 南アルプス赤石温泉白樺荘                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |    |                    |
| 課名                                  | 中山間地振興課                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |    |                    |
| 指定管理者名                              | 一般社団法人静岡市井川振興会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |                    |
| 指定期間                                | 令和2年4月1日～令和5年3月31日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |                    |
| 評価委員会<br>開催年月日                      | 令和4年5月27日（金）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |    |                    |
| 評価委員<br>※（ ）内は職名<br>等を記載してく<br>ださい。 | ①委員長 気田 敏弘（中山間地振興担当部長）<br>②委員 杉山美樹江（公益財団法人するが企画観光局地域連携部長）<br>③ 〃 松下由美子（静岡県温泉協会書記）<br>④ 〃 靱矢 雅浩（賤機都市山村交流センター館長）<br>⑤ 〃 杉本 守（参与兼農業政策課長）                                                                                                                                                                                                    |    |                    |
| 評価点<br>(各委員平均点)                     | 77.0点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 評価 | A・ <b>B</b> ・C・D・E |
| 評価結果詳細                              | 別紙「総合評価結果総括表」のとおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |    |                    |
| 総合評価結果を踏<br>まえての施設所管<br>課としての意見     | <p>事業計画のとおり、概ね適切に事業が実施された。</p> <p>ホームページの作成やWi-Fiの導入の検討など、ニーズに応える努力や情報発信に対する積極的な姿勢がうかがえる。また、食堂の新メニューの開発、地域おこし協力隊との連携等地域ならではの取り組みにより、自ら課題解決を図ろうとしている。</p> <p>利用者アンケートにて概ね高い評価を得ていることから良好な施設運営がなされ、従業員によるおもてなしができていることがうかがえる。</p> <p>他の温泉温泉施設や井川地区の各施設との連携を更に強化し、今後も地域振興の核施設として、南アルプスの登山客のみならず、幅広い層のファンを掘り起こし、地域活性化の拠点となるような施設運営を期待する。</p> |    |                    |

## 総合評価結果総括表

施設の名 称 [南アルプス赤石温泉白樺荘]

課名 [中山間地振興課]

指定管理者名 [一般社団法人静岡市井川振興会]

|                                   | A<br>評価<br>委員 | B<br>評価<br>委員 | C<br>評価<br>委員 | D<br>評価<br>委員 | E<br>評価<br>委員 | 平均<br>点 |
|-----------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|
| 1 履行状況の確認                         | 【配点50点】       |               |               |               |               |         |
| (ア) 事業計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。 | 17            | 15            | 14            | 14            | 15            | 15.0    |
| (イ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。     | 8             | 8             | 8             | 8             | 8             | 8.0     |
| (ウ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。       | 8             | 8             | 8             | 8             | 8             | 8.0     |
| (エ) 予算に基づき適正に執行されているか。            | 6             | 7             | 7             | 8             | 7             | 7.0     |
| 小 計                               | 39            | 38            | 37            | 38            | 38            | 38.0    |
| 2 指定管理者の創意工夫                      | 【配点15点】       |               |               |               |               |         |
| (ア) 指定管理者の技術・経験を活かした事業が実施された。     | 8             | 9             | 7             | 7             | 7             | 7.6     |
| (イ) 経費削減に関する工夫がなされているか。           | 4             | 3             | 4             | 3             | 3             | 3.4     |
| 小 計                               | 12            | 12            | 11            | 10            | 10            | 11.0    |
| 3 市民（利用者）のサービスの向上                 | 【配点15点】       |               |               |               |               |         |
| (ア) 利用者アンケートにおいて高い評価を受けた。         | 8             | 8             | 7             | 8             | 8             | 7.8     |
| (イ) 利用者の苦情等に速やかに対応した。             | 4             | 4             | 5             | 4             | 3             | 4.0     |
| 小 計                               | 12            | 12            | 12            | 12            | 11            | 11.8    |
| 4 施設固有の評価項目                       | 【配点20点】       |               |               |               |               |         |
| (ア) 交流人口の増加を図る工夫がされた。             | 8             | 8             | 9             | 8             | 9             | 8.4     |
| (イ) 地域振興施設としての役割が果たされた。           | 8             | 8             | 8             | 6             | 9             | 7.8     |
| 小 計                               | 16            | 16            | 17            | 14            | 18            | 16.2    |
| 合 計                               | 79            | 78            | 77            | 74            | 77            | 77.0    |

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・ホームページの作成など、情報発信に努めている。
- ・従業員が自然な感じを大切に接客を心がけており、おもてなしができています。
- ・外国人の方を雇用するなど、新しい取り組みに努めている。
- ・コロナの影響ではあるが2年連続で赤字を出している。
- ・ホームページの作成、Wi-Fiの導入検討など、ニーズに応える努力と情報発信を積極的に取り組もうとしている。

【B評価委員】

- ・親しみのある接客を心がけている。
- ・インド人のダムカレーなどのメニューを開発し、提供している。
- ・新型コロナウイルスの影響で山小屋がクローズし登山客の減少などの影響を受けたが、名湯御朱印巡りへの参加など交流人口増加の取り組みも見られた。
- ・大井川鉄道との周遊コースの考案について、温泉をメインとした安定実現できる集客方法を見つけられるといいと思う。

【C評価委員】

- ・コロナ禍にもかかわらず、意外と利用があった。
- ・施設、環境の良さが売りになる。
- ・今後の他団体との交渉（連携した宣伝、誘客）に大いに期待。
- ・アマゴ、わさびなど他との協力を注いでいる。

【D評価委員】

- ・コロナ禍の影響が色濃く出たが、大きなトラブルもなく施設管理ができた。
- ・食堂での新メニュー開発等、地域資源の活用や地域主体の取り組みを先導して行うことができた。
- ・例年施設として高評価を得ている。
- ・近隣温浴施設との連携は引き続き行ってほしい。
- ・オートキャンプ場等他施設との連携、活用についてさらに掘り下げて欲しい。

【E評価委員】

- ・利用者数が、他の施設の業務に影響を受けやすいものの、目的に沿った運営ができています。
- ・スタッフが親近感を重視して対応している。
- ・わさび井が好評。
- ・ダムカレーや押し寿司の開発のほか、Wi-Fi設備の導入検討など、新たな企画に積極的に取り組んでおり、今後に期待できる。

評価委員会としての意見

- ・新たにホームページの作成やWi-Fiの導入の検討など、ニーズに応える努力や情報発信に対する積極的な姿勢がうかがえる。
- ・地理的に非常に難しい施設ではあるが、食堂の新メニューの開発、地域おこし協力隊との連携等地域ならではの取り組みにより、自ら課題解決を図ろうとしている。
- ・今後も南アルプスの登山客のみならず、幅広い層のファンを掘り起こし、地域活性化の拠点となるよう期待したい。